

藤棚新聞



第31号
発行
2013年 8月20日
藤棚新聞

新しい事にチャレンジ



西前中央商店会長 鵜飼正雄

日頃は藤棚地区の商店街をご利用いただきありがとうございます。
この度、西前銀座商店街協同組合より、西前中央商店会と名称を変更致しました。それに伴い旧協働組合溝口理事長から新会長に指名されました。私は西前中央商店会で青果店を営んでいます。

現在、西前中央商店会で商いをしている店は、金融機関を含めて39店です。一時期から比べると半分になってしまいました。お客さまから「あのお店はどうしたのですか?」と聞かれることもしばしばあります。全国的に今、商店街は厳しい環境にさらされていま

す。でも買い物に来てくださるお客さまがられる限りは頑張っていこうと思っています。

新組織になって役員も新しい人が4人加わって従来からの中元セール・へそまつり・歳末セール・西前独自のスプリングセール、これからのイベントに、まだまだ手探りですがなにか新しい事ができないか模索中です。

これからも、新役員一同、会員のみなさまと共に少しでもお客のお役に立てるように頑張っていきますので、地域の皆様方にもぜひご利用していただければ幸いです。



気になるお店シリーズ

自家焙煎コーヒー View



朝10時少し前、「美味しい食事と馥郁の珈琲」の店ビューにお邪魔しました。店の前でコーヒーの豆を選別しているご主人に挨拶して店の中に入ると、きれいな木張りの壁に、大きな絵の額が掛かっていることに気づきます。

この日は料理を担当されている奥様に話を聞くことができました。料理は、ビューランチ、魚と肉の料理そして煮物などすべて手作りだそうです。あんみつやあんこも自分で作り、カレーはルーを皿に盛って、注文にあわせてトッピングを載せます。店先に置いたメニューにもいろいろな料理の写真があって、見ていてあきません。テイクアウトもできるそうです。奥様は食べ物を作ることが楽しくて、自信をもっていることが感じられます。

お店の前に来てくれたお客さんには、中に入っただけのようにできるだけ声を掛けています。店から見た町の様子を伺うと、「人通りは減ったけれど昔からのお客さんがきてくれます。暖かい人の心が通っている町です」と言います。そのとおりで、インタビューの最中に次々とお客さんが入ってきました。

西区久保町17-12 TEL・FAX 045(252)6437

この町、
この人

聞き入る気持ちが伝わってくる

こども向けに読み聞かせをしている小林健治さんを、会場の西前小学校3年1組岡澤寅午(おかざわいんご)先生のクラスにお訪ねしました。

教壇にたった小林さんは最初に「みんな、今は昼と夜のどちらが長いのかな?」と聞きました。時間のことを聞いているわけは、小林さんが絵本を広げてお話を始めてからわかりました。きょうのお話の中心になっている“昼と夜の時間”にみんなの気持ちを向けるためだったのです。

さて、お話の「半日村」は、山が陰になって他の村の半分しか日が当たらないと、こまっている村の話でした。村人たちは話し合っ、山を崩して湖に埋めようということになり、みなで山を掘り崩しては、湖まで担いで運びました。でも昔のこと、鍬では一度にたくさん土を掘ることはできません。それでも親から子へ、子から孫へと長い間かかって、ついに日がよく当たるようになりました。

お話を聞いている間、こどもたちはみんなじっと聞き耳を立てている様子がわかりました。

仲間の人たちは、小林さんを含めて15人ぐらいのPTAのグループで、お話をする絵本は自分で選んで、台本を別に作ることもあるそうです。



境之谷公園
演芸大会
7月27日



墓地公園
盆踊り 8月3日
お神輿 8月4日



夏祭り

池ノ上公園
前夜祭
8月1日



大谷公園
盆踊り
7月27



昭和にタイムスリップ

“にしまえ今昔ものがたり”をテーマにした、西前小学校コミュニティハウス文化祭が、6月29日(土)、30日(日)に開催されました。



「市電が走っていた頃の懐かしい商店街」西戸部三丁目自治会福祉部



「行先表示板」
西前小学校黒木副校長提供

こんにちは、ぐるーぷ！ 稲穂の会

絵手紙を楽しむ

今回は、絵手紙のグループ「稲穂の会」を訪ねました。机の上には今描いたばかりの作品がならんでいます。

「下手でもいいから、思い出に残る絵手紙を描きたい」一心で参加している皆さん、おしゃべりしながら描いている時も楽しいし、絵手紙を心待ちにしていた友人から感謝の一言もとてもうれしく励みになるといいます。最近では、周りに見える草花の名前、特徴や季節感などを丁寧に観察するようになったとのこと。そして、筆の他に、自分で細工した竹や割り箸を使って描いたり、はがきの代わりに和紙やコーヒーのフィルターにも描いたり工夫しているそうです。10年以上



続けていてもまだまだ進化している様子が窺えました。



もちろん、絵手紙にはメッセージが書き添えてあります。「孫はつらつ、私、ボケ気味」と90歳近い男性。恐れ入りました。皆さん全員「はがきを受け取った方が喜んでもらえばそれでいい」とのこと。まさに「絵手紙が虹の架け橋になっている」という小野先生の一言が心に響きました。

活動場所：稲荷台小コミュニティハウス研修室

活動日：第一、第三火曜日 問い合わせ：増田さん 241-4721

(F)



一服の涼味、ソーメン流し

東久保町東睦会では、7月7日の七夕の日に東久保町会館でソーメン流しを実施しました。

朝6時に七夕用の孟宗竹を取ってきて、その中からソーメン流しをする太い竹を選ぶと縦に半分に割って、中の節を抜いて作りました。

東睦会の福山会長のお話では、ソーメン流しは5年以上も続いているそうです。梅干しに生姜を入れたお勧めのつゆで、記者もツルツルといただきました。



「早く流して～」

強い風にあおられる七夕かざり



ふれあいの夕べ

7月27日に西前小学校のグラウンドと体育館で、西中学校や西前小をはじめとてたくさんの団体の共催によって、ふれあいの夕べが実施されました。

とても暑い日で、かき氷の店には長い列ができました。



コリントゲーム



風船ダーツ

藤棚レポート募集

藤棚新聞では、創刊5周年を記念して、藤棚の周辺とひろく西区内で見聞きしたイベント、散歩道で見かけた動物や草花など何気ない情報をみなさまから募集します。

写真と簡単な説明を4面下記の宛先に連絡先を付記してお送りください。

採用させていただいた記事には粗品を差し上げます。

自転車と歩行者はともだち！ は、お休みします。

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切九月二十日。
* 巻頭句には粗品を進呈。
Eメール: fujidananp@m.jcnnet.jp
FAX : 045-895-0081

藤棚俳壇 選者 三村凧彦
小振りでも眼力強き鯨を買ふ
合歡が咲き建て替へ話うやむやに
縁日の匂いが好きで庭花火
音のみをペランダに聞く遠花火
サクランボギヤマン皿に選ばれし
しあわせは半分孫と西瓜食う
戦災に負けじとあゆみ夾竹桃
《寸評》ビールの商品名で「秋味」というのがあ
るが、鯨は夏が旬で、産卵前の脂がのって美味。
夏の季語である。魚の新鮮さを、「眼力強き」と把
握したところが端的直截で良い。
小野元夫
今吉正枝
荒川文字
石田礼子
増田道子
太田富子
神代涼子

スクエアダンス新規会員募集！！

歩くだけ、軽い運動、軽快な音楽



(無料体験)

8月21, 28日
PM 6:30 ~ 8:30
野毛地区センター
(ちえるる野毛3階)

主催: 横浜スクエアダンス愛好会
問合せ先: 045-582-0598(前野)

横浜信用金庫
藤棚支店

たしかな明日のお手伝い

〒220-0051 西区中央 2-6-10
TEL 045-314-2011(代)
FAX 045-314-4007
<http://www.yokoshin.co.jp>

藤棚新聞ホームページ

<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana/>

【発行】藤棚新聞

〒220-0053 横浜市西区久保町 17-2

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@m.jcnnet.jp